



ともに生きる人間のまち…みほ

社協だより

第15号(年2回)

平成9年6月1日

編集・発行

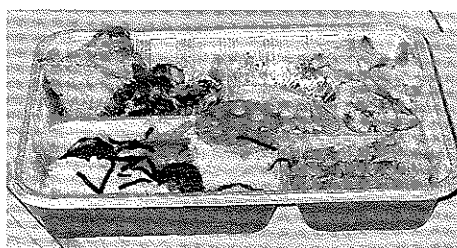
みほネットワーク

社会福祉
法人

美浦村社会福祉協議会
老人福祉センター内

TEL 85-0038

FAX 85-1042



毎年夏休みには、中学生による「配食弁当サービス」が行われます。お弁当作りから配送まで行い、お年寄りとの交流を深めております。中学生の皆さん、今年もよろしく願います！

ひとり暮らしのお年寄りに 手作りのお弁当を

- 平成9年度事業計画のお知らせ ……P. 2
- 平成8年度会費報告／共同募金報告 ……P. 3
- 善意のご報告
古切手・使用済テレホンカード ……P. 4
- ホープ作業所より／介護教室 ……P. 5
- 第3回福祉ワークキャンプ ……P. 6

- 金婚おめでとうございます
喜寿のお祝い／歩け歩け大会 ……P. 7
- 県・郡表彰者のご紹介 ……P. 8
- 老人クラブ表彰者／一円玉募金 ……P. 9
- 老人発表会より ……P. 10～11
- お知らせ／新任職員紹介 ……P. 12

美浦村社会福祉協議会 平成9年度事業計画のお知らせ

三月二十七日に、老人福祉センターにて社会福祉協議会理事
会、評議員会を開催し、平成九年度予算、事業内容が審議の上
可決されました。

在宅福祉事業

ひとり暮らし、寝たきり老人
の対策

- ・ ボランティア、民生委員
による食事サービス
- ・ 老人クラブによる友愛訪
問の実施
- ・ 紙おむつ購入助成
- ・ ベッド、車椅子の貸出し
- ・ ホームヘルパー派遣事業
- ・ ひとり暮らし、寝たきり
老人の援護体制の整備
- ・ 村内における福祉の啓蒙
活動



地域ケアシステム事業

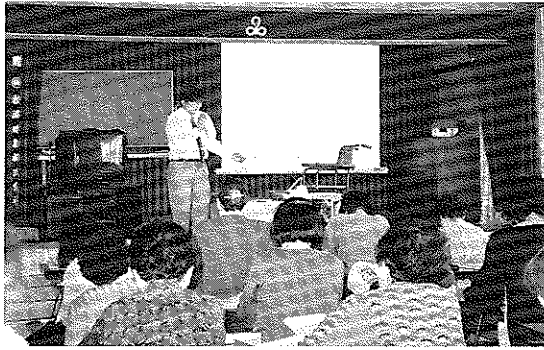
活動と組織の充実

- ・ 地域ケアシステムサービ
ス定例調整会議の開催
- ・ ケース検討の充実
- ・ 講座開催、パンフレット
配布による地域啓発活動

ボランティアの育成 及び活動推進事業

ボランティアの活動支援

- ・ ボランティア連絡協議会
の活動援助
- ・ 広報誌の発行
- ・ ボランティア育成
- ・ ボランティア福祉講座の
開催
- ・ 児童生徒のボランティア
活動への協力依頼
- ・ ワークキャンプの実施



高齢者の地域参加活 動の支援

ふれあい事業の推進

- ・ 歩け歩け大会の実施
- ・ ふれあい運動会の実施
- ・ 老人クラブ連合会、遺族会へ
の支援
- ・ 老人クラブ運営のための
活動支援
- ・ 老人クラブによるボラン
ティア活動の推進
- ・ 遺族会運営のための活動
支援



在宅心身障害者訓練 事業の整備・充実

希望の広場ホープ作業所運営

- ・ 内職作業による、障害者
の社会適応訓練
- ・ ボランティア等、地域住
民との交流支援

住みやすい地域づくり

心配ごと相談所の運営

- ・ 村内居住者のための悩み
相談、法律相談の実施
- ・ 専用回線による電話相談



特別会費 合計 1,009,000円

(順不同・敬称略) (単位: 円)

特 別 会 費	金 額	特 別 会 費	金 額
細谷建設工業協	30,000	みほ造花	10,000
美浦総合商事	30,000	鹿島鉄工協	10,000
日本テキサスインスツルメンツ協	30,000	美浦管工事協同組	10,000
稲敷農協安中支所	10,000	仰霞自動車	10,000
美浦村農協	10,000	仰ユニフー	10,000
仰ビケン茨城工場	10,000	仰小沢石油店	10,000
関東農産美浦工場	10,000	仰中島栄電気	10,000
スガノ農機協	10,000	仰ニユーかわぎ	10,000
美浦電機工業協	10,000	アタリヤ吹付塗装協	10,000
丸井繊維工業協	10,000	木村鉄工協	10,000
市川建設工業協	10,000	仰関東電気商會	10,000
仰昭和スプリング製作所	10,000	桜井建設協	10,000
新田工務店	10,000	花王霞ヶ浦研修所	10,000
美浦LPG協	10,000	魚増鮮魚店	10,000
美浦ガス協	10,000	高橋工務店	10,000
ホギメディカル協第一工場	10,000	美浦ゴルフ倶楽部	10,000
常陽銀行美浦支店	10,000	吉田推進土木	10,000
常陽銀行木原支店	10,000	仰写楽	10,000
美浦中央病院	10,000	安藤建設協	10,000
茨城緑興協	10,000	丸太建設協	10,000
仰青野工務店	5,000	仰タナカ	10,000
日本酸素美浦ガスセンター	10,000	仰石井土木	10,000
仰ミホコー	10,000	中島冷熱	10,000
茨城マッシュルーム生産組合	10,000	ファミリーマート美浦舟子店	10,000
茨城県労働金庫美浦支店	10,000	いさ美庵	10,000
上浦信用金庫美浦支店	10,000	美浦村長	5,000
桑名電気工業協	10,000	美浦収入役	5,000
美浦整骨院	10,000	美浦教育長	5,000
仰あかいホーム	10,000	美浦村議会議員19名	38,000
大津材木店(信太)	10,000	美浦村役場職員	123,000
筑波米菓協	10,000	木原小学校教職員	15,000
仰高若	10,000	大谷小学校教職員	18,000
篠田工務店	10,000	安中小学校教職員	5,000
坂部工務店	3,000	美浦中学校教職員	22,500
美浦電設業組合	10,000	美浦幼稚園教職員	10,000
栗山工業協	10,000	美浦村民生委員25名	75,000
小沢鉄工所	10,000	美浦村社会福祉協議会職員	5,500
珍	10,000		

平成8年度 会費報告

社会福祉協議会では、村民の皆さんから、会費等をいただいて運営している社会福祉法人格の団体です。

今回、村民の皆さんよりの一般会費、村議会議員の方々をはじめとして学校関係、役

場職員の方々よりの賛助会費、また、村内の一般企業、商業関係者の方々よりの特別会費として別表のとおり多大なるご配慮をいただいております。ありがとうございます。

一般会費 合計 2,264,500円
(単位: 円)

地区名	金 額
木原地区	852,000
大谷地区	651,500
安中地区	363,500
美駒地区	397,500

- 赤い羽根募金(戸別) 2,253,550円
- 〃 (個人、団体) 658,835円
- 合 計 2,912,385円
- 歳末たすけあい募金 2,251,100円

個人・団体募金・職域募金

(順不同・敬称略) (単位: 円)

氏 名	金 額	氏 名	金 額
木原小学校児童会	32,806	美浦村議会議員(19名)	19,000
大谷小学校児童会	38,454	美浦村役場職員	64,339
安中小学校児童会	18,751	木原小学校教職員	6,456
美浦中学校生徒会	39,832	大谷小学校教職員	4,800
立正佼成会美浦支部	50,000	安中小学校教職員	3,951
陶美の会	20,000	美浦幼稚園教職員	7,500
関久堂書店	10,000	美浦村民生委員協議会(25名)	50,000
茨城労働金庫美浦支店	42,336	安田正志(下舟子)	3,286
美浦村商工会青年部	52,111	街頭募金	48,063
あっぱるクラブ	10,000	テレフォンカード募金	107,150
匿名	13,000	美浦村社会福祉協議会職員	17,000
合 計	額		658,835

共同募金(赤い羽根募金、歳末たすけあい募金)運動は去る十月一日〜十二月三十一日の期間行なわれ、本村でも赤い羽根、歳末たすけあいの合計で、一戸あたり一〇〇〇円を目標準額としてお願いいたしました。

集まりましたお金は、地域の福祉事業を進めるための財源として使わせていただいております。

戸別募金

(単位: 円)

地 区	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金
木原地区	837,000	836,500
大谷地区	662,100	660,400
安中地区	352,500	353,000
美駒地区	401,950	401,200
合 計	2,253,550	2,251,100

平成8年度 共同募金のご報告

善意銀行（順不同・敬称略）

特に指定された場合を除き、地域で援護を必要としている方のためや、ボランティア活動のため等にに使わせていただいています。

（単位：円）

項 目	金 額	項 目	金 額
有限会社武田牧場	75,000	匿名	5,000
茂呂生活改善グループ	21,220	小泉正巳（下舟子）	50,000
日本中央競馬美浦トレーニングセンター盆裁会	18,582	社協窓口募金箱	25,132
スパ美浦バイパス店（あゆみの箱）	18,000	妙香寺（山本泰全）	75,000
白川博躬（土浦）	50,000	伊藤愛子（布佐）	100,000
匿名	20,000	美駒関東労青年部	59,500
匿名	17,226	美浦婦人会	20,000
木原小PTA	30,000	ゴルフ野良会	30,000
茨城トヨペット（株）江戸崎営業所	7,210	親子スキー教室残金	2,137
美浦歌謡連盟	50,000	全日本歌謡研究会茨城地区	20,000
美浦まきば病院	13,500	美浦村民生委員協議会	69,000
山本泰全	5,000	小沢石油店（声の出る募金箱）	808
大須賀津サマーフェスティバル益金	29,000	宮本孝幸（信太）	9,300
美浦ゴルフ倶楽部	124,475	合 計	1,164,761
美浦村チャリティーゴルフ実行委員会	219,671		



▲中央競馬馬主社会福祉財団様より
ワゴン車購入のための助成金



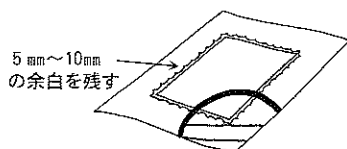
▲茨城労働金庫美浦支店様
より共同募金へ

ありがとうございます
皆様から寄せられた善意の数々

善意銀行は、皆様から寄付して頂いた善意をお預りし、福祉活動発展のために有効に活用することを目的としています。
村内の方々をはじめ、昨年度もたくさんの善意を寄せていただきました。

- やまゆり基金へ美浦村区長会より 108,000円
- ワゴン車購入助成金として
中央競馬馬主社会福祉財団より 1,710,000円
- ホープ作業所へ阿見ライオンズクラブより 100,000円

古切手の整理方法



収集対象のプリペイドカード

- テレホンカード（NTT）
- オレンジカード（JR）
- ハイウェイカード（日本道路公団）
- メトロカード（営団地下鉄）
- その他の私鉄カード
- ふみカード（郵便局）
- 図書カード

古切手・使用済みテレホンカード類にご協力
いただいた方々（順不同・敬称略）
勝嶋和子、松本（山内）、小澤武夫、安藤建設
（株）、橋本（浜）、匿名、増尾和子、田島早苗、
滝本（布佐）、佐藤三男、高橋（下舟子）、郷
中老人クラブ、篠田工務店、新田（布佐）、新
関（布佐）、渡辺きよ、美駒老人クラブ、美浦
村役場、スガノ農機、丸太建設、（株）タナカ
（平成九年四月現在）

古切手・使用済みテレホン
カードを集めております
社会福祉協議会では、古切手、使用済みの
テレホンカード類を集めています。これらは
全て、収集家との取引によって換金され、発
展途上国へ寄付される医療器具・薬などの購
入に充てられます。
また、テレホンカードの他に各種プリペイ
ドカードも集めております。併せてご協力を
お願い致します。

ホープ作業所より ボランティアさんありがとう

老人福祉センターに併設されている「ホープ作業所」をご存じですか。ここでは村内に住んでいる、心身にハンディキャップを持つ人達が、月曜日から金曜日の朝九時半から午後三時の間、ロウソクの選別、箱詰の作業を行っています。これらの作業を毎日交代でお手伝いしてくださる、ボランティアの皆さんがいらっしゃいます。

村内のボランティアグループ、老人クラブを中心に、月曜日は上舟子、火曜日は浜、



水曜日は大谷、木曜は下舟子、金曜は美駒。他に、個人的に参加されている方達もいらっしゃいます。作業のお手伝いやその合間のゆかいなおしゃべりなど、訓練生たちも毎日ボランティアさんに会えるのを楽しみにしております。

訓練生作文より

ボランティアさんまいにちホープさぎょうしょにきてくださいね。ときどきおやつをありがとうございます。

ボランティアさんくるとおもしろいです。みんなとボランティアさんでしごとがんばりましょう。せんせいとボランティアさんみんなでおしゃべりをしましょうね。

ボランティアさんロウソクつめるのはやいのでちゃんときずみてくださいね。
ボランティアさんホープさぎょうしょのへやでげんきよくあいさつします。ボランティアさんまいにちきてくださいね。

ボランティアさんへ

いつも、お手伝いに来てくれて、本当にどうもありがとうございます。毎日ボランティアさんと仕事が出来て、私はとても嬉しく、心がなごやかになれ、それが大きな励みにもなります。逆にそんな気持ち、ボランティアさん一人一人に感じてもらえたらって思っています。そのためにも、このふれあいを、私はいつまでも大切にしたいって思っています。ロウソクの仕事も、ボランティアさんが手伝ってくれるからこそはかどるんです。ボランティアさんとお出かけも心がはずみます。これからも色んな所へ出かけたいです。私もボランティアさんたちに出会って何かが変わった気がします。どうかこれから、元気に作業所のお手伝いに来てください。いっしょに仕事が出来るのを楽しみにしています。

しあわせに暮らす

二十一世紀のために

平成八年度美浦村介護教室開催

平成八年十月三十日、三十一日の二日間、老人福祉センターにて介護教室を開催。茨城県より土浦地方福祉事務所、土浦保健所、介護実習普及センター、美浦村より介護支援センター、役場福祉課、社会福祉協議会の共催で行われました。

在宅にてねたきりのお年寄り等を介護している方を中心に、受講者は計三十三名。研修の内容は次の通りです。

- ・在宅福祉の現状
- ・要介護、介護者の健康管理
- ・介護支援センターと在宅福祉について
- ・福祉用具を使用しての介護技術の取得
- ・デイケア事業見学（ゴーエン美浦）
- ・地域ケアシステムについて
- ・在宅での入浴介助実技

受講された方から、次の様な感想が寄せられました。

「介護教室に参加して、在宅介護の知識と技術が学べました。今後介護を受ける本人の気持ちを考え、家族みんなで話し合っていきたいです。また、家族だけで背負わないで、地域で行われているサービスを利用して、長く続けられる介護が必要になって来ていると思いました。」



第3回 福祉ワークキャンプを実施

平成八年八月一日～二日の二日間にわたり、村内の小学生三十名の参加を得て、第三回「福祉ワークキャンプ」を実施しました。

老人福祉センターで、1泊2日の団体生活を行い、ボランティア体験学習を通して「福祉のこころ」を育むことをねらいとしています。

今年の夏も、村内の小学生を対象に行う予定です。



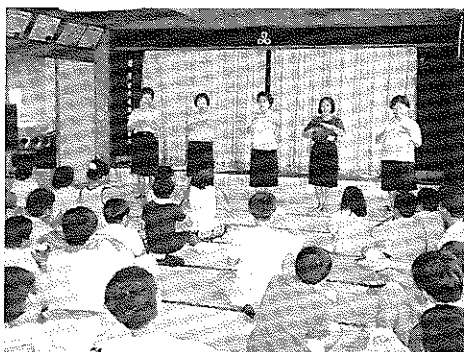
第3回 福祉ワークキャンプ プログラム

1日目 8月1日 (木)

- 9:30 受付
- 10:00 開会
- 10:15 開講式、オリエンテーション
- 10:40 実践活動・手話を学ぼう
- 12:00 昼食
- 12:50 実践活動
 - 1班 (ホープ作業所)
 - 2班 (ゴーエン美浦)
- 14:30 実践活動
 - 1班 (ゴーエン美浦)
 - 2班 (ホープ作業所)
- 16:00 夕食準備 (バーベキュー)
- 19:00 キャンプファイヤー
- 20:20 入浴、自由時間
- 22:00 消灯

2日目 8月2日 (金)

- 6:00 起床
- 6:30 ラジオ体操・清掃
- 7:30 昼食
- 8:30 ビデオ上映会
- 9:30 反省会・まとめ
- 11:00 閉講式



福祉ワークキャンプに

参加して

木原小五年 宮久保浩子

なんとなく、くもった日から始まったキャンプでした。でも、わたしは、胸をわくわくさせて、福祉センターにきました。

なぜかという、わたしは福祉ワークキャンプに参加するのが初めてだったからです。まず、手話を勉強しました。指文字を「手話サークル・コスモス」の人たちから教わりました。そして、自己紹介をすることになりました。



わたしは、はっきり言ってヘタでしたけど、自分自身では、うまくできたと思います。

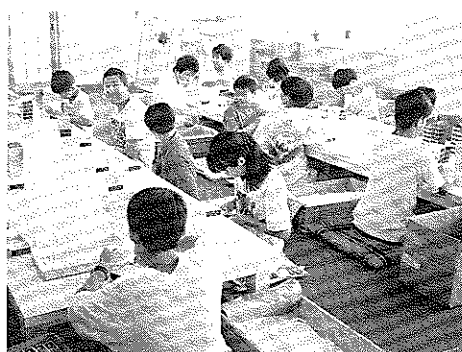
あと「手のひらを太陽に」も教えてもらいました。「手のひらを太陽に」は言うことないぐらい、うまくできたと思います。

昼食を食べてからは、ゴーエン美浦やホープ作業所に行きました。

ゴーエン美浦では、お風呂に入りました。車いすののったままや、ねたまま入るお風呂がありました。

わたしは、こんないお風呂があれば、老人も楽になれるな、と思いました。

ホープ作業所では、やり方



を教えてもらって、ろうそくを箱につめました。

夜は、バーベキューやキャンプファイヤーをしました。キャンプファイヤーの後に花火もしました。花火は、とてもきれいでした。

夜は、あまりよくねむれませんでした。

トランプをしたり、まくらけりをしたりして、夜おそくまで、あそんでいました。

朝は、ラジオ体操をしました。あつという間の一泊二日でした。とても急がしかったけど、とても楽しかったです。

来年も参加したいと思いました。

平成8年度に金婚をむかえた25組のご夫妻 (順不同・敬称略)

地区	氏名	地区	氏名
登宿	坪井孝太郎・信子	仲妻	高橋次夫・マキ子
〃	林功・もと	給分	飯塚三郎・とく
〃	人見進・保子	〃	市川茂兵衛・はな
山戸丁	柳堀誠・歌子	〃	宮本照・かね
田中	町田清・敏子	興津	石川一郎・あき
上宿	松葉蓮・よしゐ	布佐東部	伊藤惣七・ミチ子
郷中	栗山三国・とみ	〃	宮本清・かつい
受領	野口啓三・キエ	布佐西部	栗山一郎・ふみ子
宮地	中嶋弘・富貴	〃	宮本幸雄・律
石灘	小沢勝・まさ子	牛込	武田渉・米代
根古屋	根本金三郎・ちよ	間野	浅野貞助・よしい
〃	米沢輝雄・けい	馬見山	谷畑隆・政子
須賀	木村彦兵衛・ちよ		

平成八年度に金婚をむかえられたご夫妻は合計で二十五組。お祝いのため、社協会長の市川村長が各家庭を訪問しました。

五十年の長い年月の間には、様々な御苦労があったことと想われます。

夫妻相和し、どうかこれからも幸せにお過ごしください。



登宿の人見さんご夫妻

金婚おめでとーございます

喜寿のお祝い

平成八年十一月二十二日、老人福祉センターにて、喜寿のお祝い会を実施いたしました。八年度中に喜寿をむかえられる方は七十五名、当日はそのうち三十六名の方が出席されました。

本原保育所の子供たちによるお遊戯や、肩たたき、手作りのプレゼント、また、村内の舞踊グループの皆さんによる踊りや、美浦華の会の方々の大正琴、手話グループコス

モスによる手話ダンスが披露されました。

皆さんどうぞお身体に気をつけて、いつまでもお元気で。



歌や踊りで楽しいひととき



三世代ふれあい歩け歩け大会

平成八年九月二十九日(日) 村内の木原、安中、大谷、美駒の四地区において、三世代ふれあい歩け歩け大会が実施されました。

当日は晴天にも恵まれ、参加者は四地区を合わせると約六百名に上りました。地区毎におよそ五キロメートルの工程を、空き缶、ゴミ等を拾いながら歩く、環境美化と健康

づくりを兼ねての運動です。恒例の子供たちのくじ引き大会も行われ、大いに盛り上がりました。



表彰者のご紹介



県関係表彰者

毎年恒例の茨城県社会福祉大会。その第四十六回大会が平成八年十月十七日、水戸市の茨城県立県民文化センターにて行われ、本村からも次の方々が表彰を受けました。

どうもおめでとございました。



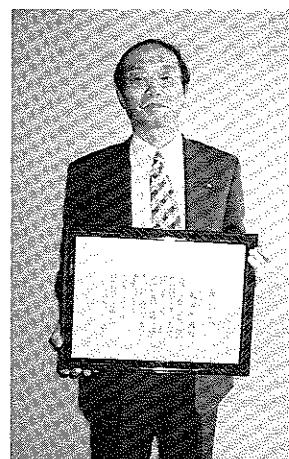
- 茨城県社会福祉協議会長表彰
- ☆社会福祉施設職員
- ・小沢静恵（大谷保育所）
- ・宮本節子（大谷保育所）
- ・坂本幸子（木原保育所）
- 共同募金運動五十周年記念
- 募金功労者顕彰
- 茨城県協同募金会会長感謝
- ☆永年優良奉仕団体
- ・美駒ボランティア



- 共同募金運動五十周年記念
- 募金功労者顕彰
- 茨城県共同募金会会長感謝
- ☆永年勤続役員
- ・市川紀行（美浦村分会長）
- ☆従事功労者
- ・後藤広子（事務担当者）

郡関係表彰者

平成八年度稲敷郡社会福祉大会・第三十五回稲敷郡民生委員児童委員大会が平成九年二月二十一日、茅崎園民センターにて開催され、次の方々が表彰されました。



- 稲敷郡社会福祉協議会長表彰
- ☆社会福祉協議会役員
- ・飯田和夫



- ☆社会福祉協議会職員
- ・飛鋪順子
- ☆第十八回稲敷郡福祉作文入選者（優秀賞）
- 美浦中二年 清水貴美子

老人クラブ連合会より

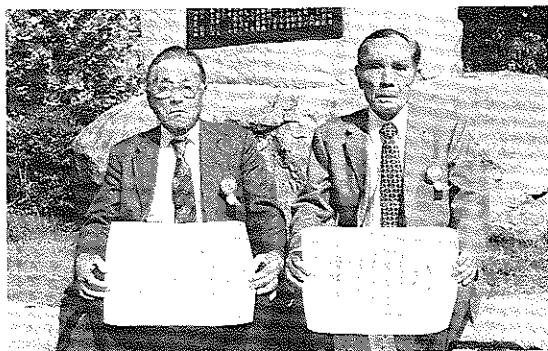
平成八年度表彰者のご紹介

平成八年十月二十九日、県立県民文化センター大ホールにおいて、第三十五回茨城県老人クラブ大会が開催され、席上、次の方々が表彰されました。

☆茨城県老連会長表彰

・寺崎新平（土屋）
・石井直次（土屋）

長年にわたり地区老人会の運営に大きな貢献をしたことに対して

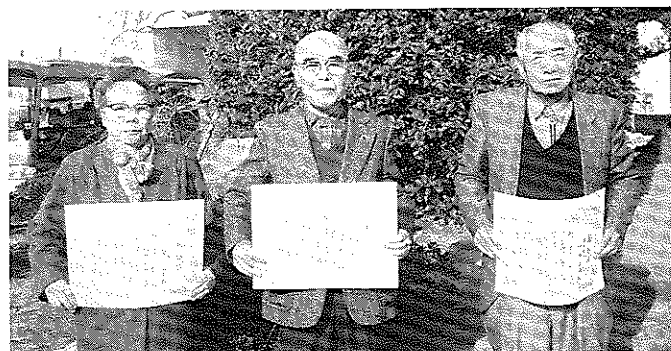


左より寺崎氏、石井氏

平成八年十一月二十六日、河内町農村環境改善センターにて第十五回稲敷郡老人福祉大会が開催され、次の方々が表彰されました。

☆稲敷郡老連会長表彰

・中島正男（上舟子）
・諸岡桂之助（下舟子）
・柴崎はる（美駒）



左より柴崎氏、諸岡氏、中島氏

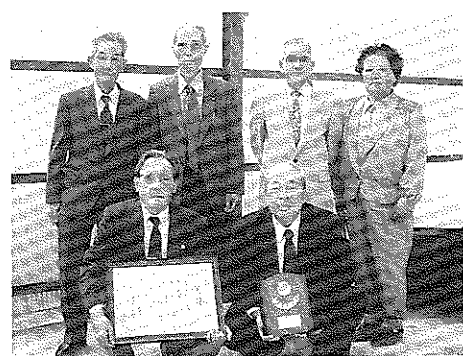
全国老連会長より表彰

平成八年十月十六日、十七日の両日、島根県民会館にて、第二十五回全国老人クラブ大会が行われました。

その席上、本村老連の活動に対し、全国老人クラブ連合会長表彰が送られました。

これも、完全自主運営がなされている趣味クラブの活動をはじめとする、美浦村老連会員一人一人の日頃の地道な活動の賜です。

これからもみんなで力を合わせて、楽しいクラブ作りに励んでいきましょう。



老人クラブの皆さんより

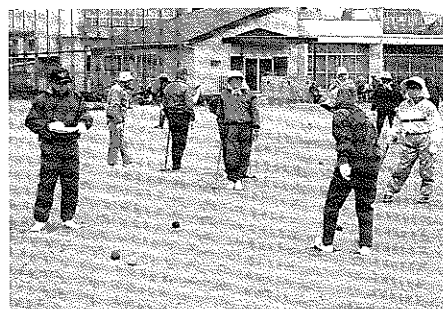
一円玉募金

美浦村老連では、毎年会員の皆様より、一円玉募金をいただいております。集まりました募金は様々な形で各方面への募金として、また老連事業費として活用させていただきます。平成八年度の募金額については下表のとおりです。どうもありがとうございます。

また、使用済切手についても、婦人部長さんを中心に集めていただいております。今後とも協力をお願いいたします。

平成8年度美浦村老連一円玉募金受入表（単位：円）

地区名	金額	地区名	金額	地区名	金額
浜	5,491	上舟子	4,522	八井田	2,164
登宿	5,713	興津	2,542	根火	2,528
田中	2,583	土屋	22,974	土浦	2,611
郷中	9,250	塚中	2,826	山掛	1,168
受領	10,704	大谷	1,260	馬掛	3,386
石灘	7,625	山内	2,663	美駒	1,670
布佐	8,698	合	計	100,378円 (19支部)	



クロケー大会、老人福祉センターにて



俳句クラブの定例会

老人クラブ連合会 「老人発表会」 から

毎年、稲敷郡老人クラブ連合会の主催により「老人発表会」が郡内各町村に会場持ち回りにより実施されています。

ここでは平成八年七月二十五日

時の流れに思う

美浦村土屋老人クラブ 寺崎 新平

私は元、木原村大字布佐と言う地名の所に生まれました。物覚えした頃は、人家も少なく、淋しい本当の山の中でした。大人達は、朝早くから農作業に出かけ夜おそくまで働いていたのが、子供心にも印象に残って居ります。夜などは電灯のあかりもなく、一人では歩けない山奥の感じでした。

私は元、木原村大字布佐と云う地名の所に生まれました。政府より払下げ、開墾にふみきったそうでございます。

当地は水田が少ない為、米は陸稲を頼りにして米作りをしたそうです。このような中に暮らしている人々は、本村から見ても非常にめづかしい上に、子供は他へ奉公に出す始末なので、大分馬鹿にされたそうです。「かいこんぼう、かいこんぼう」と言った具合に。

当地は、土浦の藩主・土屋公に依って、木原村（現在の美浦村）そして君原村（現在の阿見町）又沼里村（現在の江戸崎町）と三ヶ村にまたが

り、この土地を明治十五年に政府より払下げ、開墾にふみきったそうでございます。各方面へこの事が呼びかけられ、様々な地方より開拓者が集まり、入植してまいりました。何分にも昔のことですから、機械は無く、すべて手作業だったのですから非常に大変だったろうと想像がつきます。しかし、食わなくては

明治四十年には木原小学校土屋分校が開校となりました。五年生からは木原本校へ行くわけですが、四年生までは土屋分校にて勉強できるので、本当に助かったわけです。木

生きられない開拓精神の努力の甲斐あって、明治二十年には一応成功をおさめました。その頃の戸数は四十戸と聞いております。やがて色々な話

を聞いてか、土屋開墾へとさらに人々が集まって来て膨大な土地が開墾された訳でございます。

稲敷郡老人クラブ連合会第2



原までは四キロ離れているので、小さい子供には一寸無理な通学でした。そして、貧しい家庭に育ちながら、だんだんと成長していくにつれて、土屋地区の戸数も百二十戸になりました。

ところで、「土屋」地区は

架空の字名で、本当は、木原、

布佐、信太、興津といった四地区を通称「土屋」と呼んでいたのです。土屋の殿様が開墾したから「土屋」と呼んでいた訳で、「土屋」という字名は当時、正式には無く、公式の書類に土屋と書いては叱られたこともありました。

時代は昭和に入り、私も青



輪投げ大会にて、土屋老人クラブの仲間たちと共に

年時代がやってまいりました。我々の青年時代は道路事情が悪く、自転車が出掛けるときなど砂利の敷いてあるところまで自転車をかきでいったものです。今思うと考えられないような思い出ばかりでした。

やがて、時代は戦争へと突入し、若者は皆兵隊に駆り出される時代となっていったのです。農作物は殆ど供出と言っ

てきて、兵隊達の戦死の公報が頻繁にくるようになり、家庭では本当に心配の毎日でした。

やがて終戦となり、外国の兵隊が本土に来るようになり、戦争に負けた惨めさが心にしみる毎日でした。そのような中で昭和二十三年十月二十三日、農地解放と言って、地主は小作人に土地を売り渡す制度ができました。我々も全部小作でしたが、やがて全耕地、自分の土地になり、ほっとした時代でした。生活の方も段々

とゆとりのある生活へとなってきました。こうした生活の中にも色々な思い出が今も耳底に残っております。

さらに時は流れて昭和五十三年には、日本中央競馬会美浦トレーニングセンターが開設されました。それまで人口約八千人の美浦村へ競馬会関係者約五千人が移住してきたのです。そのことにより、土屋地区へも日に日に移住者が増えてきました。丁度この時、上屋分校も廃校となり、その跡地に土屋農村集落センターが建設されたのです。小学校は少し離れた興津地区へ新築され、土屋地区の子供達はそこへ通っております。

戸数もだんだんと増えてきて居り、道路も昔と違って舗装されてきました。

そして、それまで木原、布佐、信太、興津と四つの字名が混在していたのが、村の協力と土屋地区の努力によって、昭和六十二年八月一日に晴れて「大字土屋」が誕生した訳で御座います。

そして我々はいつしか歳も

かなり年輩に達しており、今は老人会の役員として活動しております。土屋老人会では、毎月一日には定例会を行っております。新住民、旧住民の

交流を兼ねて、歌や踊りにカラオケにと、又ある時は村の保健センターより保健婦さんに来てもらって健康診断、といった具合に和やかな雰囲気につつまれながら、楽しく過ごしております。何といっても、健康管理が大切であります。皆お互いに理解を深めあ

いながらやっております。又、天気がよければ、毎日クロッケーも行っております。これは勝負の世界ですから始まる止められません。

又、土屋地区では、みんなで稲荷神社祭りを春と秋に行っており、今では本当に楽しい毎日を送っております。それもこれも先祖達が、この山の中を汗と涙で築いてきた土台があったからと感謝せずにはられません。

今では土屋の戸数は八百七戸、人口は二千六百二十四人(ともに平成八年一月一日

現在)と美浦村で一番の大集落となりました。人が集まってくるという事は人其の他に優れているからではないでしょうか。

これから、皆様と仲良く楽しく過ごしていきたいと思っております。

甚だまとまりのつかない話で申し訳ありません。これを持ちまして私の発表を終わります。



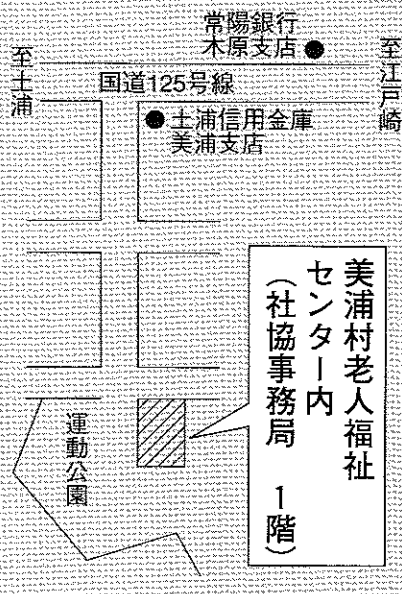
美浦村社会福祉協議会よりのお知らせ

お問い合わせは下記まで
お気軽にどうぞ

美浦村社会福祉協議会事務局

☎0298
85-0038

ご案内地図



心配ごと相談

日頃の悩み、困ったことなど、何でもお気軽にご相談ください。相談員が無料で相談をお受けいたします。

・毎週月曜日／午後一時～三時

・場所／老人福祉センター

電話相談

・毎日第一土曜日

（電話相談用直通番号

午前十時～十二時

）八五・七〇八〇

弁護士無料法律相談

毎月一回（八月を除く）弁護士による法律相談を無料にて行っており、実施日は、毎月の「みほ広報」に掲載しております。相談ご希望の方は必ず社協まで電話予約の上、お越しください。

・場所／老人福祉センター

紙おむつ共同購入

社協では、在宅にて介護されている方々に対して、ねたきり老人用の紙おむつを原価の三分の二の価格にてお分けしております。（ただし在宅の方に限ります）

なお、取扱い銘柄等については社協までお問い合わせください。

福祉機器貸出事業

介護用ベッド、車椅子等を貸出しております。ベッドについては、マット代二万円負担となります。詳しくは社協までお問い合わせください。

新任職員紹介



木村 亜衣子

美浦村社会福祉協議会に勤務し、二ヶ月が経ちました。主に、希望の広場ホープ作業所で訓練生と共に、ろうそくの作業を行いながら指導に従事している毎日です。ホープ作業所の訓練生は素直で親切な方ばかり。毎日接している中で、私自身教えられることがたくさんあります。また、曜日ごとにボランティアの方々がろうそくの作業をお手伝いに来てくださるので、色々な方との交流があり、新鮮な気持ちで充実した日々を送っております。これからも、作業や余暇活動等を通して、皆と一緒に学習していき、そして初心を忘れることなく、福祉の心を大切にしていきたいと思っております。



福田 香緒梨

三月に高校を卒業し、四月一日より社会福祉協議会で働くようになって、早いもので二ヶ月になります。まだ、社協での仕事が終わらず、まわりの皆さんに教わりながら楽しく仕事をしておりますが毎日勉強です。

社協に入ってから、各団体での総会が多く、大勢の人達が来所され、あつと言う間に一日が終わって行くようです。これからも各団体の皆様、又ホープ作業所の皆さんに一日も早く顔を覚えていただけて楽しく仕事を続けていきたいと思っております。

~~~~~

三月三十一日付をもって、長年美浦村社協に勤務された後藤広子さんが退職いたしました。おつかれさまでした。